

令和2年度 集団討論

最近は便利なものが市販されるようになった。日本語を話すと瞬時に英語に訳し、音声と文字で示してくれる。相手が英語を話すと今度は瞬時に日本語に訳してくれる。対応する言語は数十種類に及ぶ。この機能が手のひらサイズに収まり、音声翻訳機や自動翻訳機と呼ばれている。(以下では、「音声翻訳機」としておこう。)

「音声翻訳機」の使用場面を考えるといろいろな疑問が生じる。短い会話なら対応できても、長い会話はどうか。同じ言葉でも話し手の表情によって違う意味合いになるときはうまく伝わるだろうか。音声翻訳機を使用すれば、母国語以外の言語を学ぶ必要はないのだろうか。音声翻訳機だけで十分なコミュニケーションが取れるのだろうか。

この討論では、次の2点について話し合いを進めます。

1. 日本語が話せない外国人とコミュニケーションをとる場合、「音声翻訳機」を使用した場合のコミュニケーションと、使わない場合のコミュニケーションにはどのような違いがあるか、について話し合いなさい。
2. 日本語が話せない外国人とコミュニケーションをとる場合、「音声翻訳機」を使用した場合のコミュニケーションの限界を踏まえた上で、「コミュニケーションのあり方」について話し合いなさい。

[注意事項]

1. 討論ではお互いのことを「Aさん」、「Bさん」のように座席の記号で呼んでください。
2. この用紙に自分の考えや他の人の意見をメモしてもかまいません。討論終了後にこの用紙は持ち帰ってください。
3. 討論を始める前に考える時間を2分程度与えます。面接官の合図があったら、話し合いを進めてください。